

# 令和6年度 海西地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域のネットワークで安全安心な海西	
重点課題	弱者の危険からの回避 高齢者のコミュニティへの参加推進	
事業名	推進方法	評価
地域見守りネットワーク 推進事業	○子どもたちの見守りを行う。 ・安心して児童、生徒が登下校できるように、地域全体で見守り活動を行う。 ・各自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区社協役員を中心に、毎月第一登校日に通学路に立ち、安全を見守る。	○
	○高齢者の見守り活動を行う。 ・ひとり暮らし高齢者宅、高齢者世帯へふれあい訪問を実施する。	○
	○高齢者を囲む会を開催する。 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員などの協力で、ひとり暮らし高齢者（70歳以上）、高齢者世帯（75歳以上）を対象に、海西地区「高齢者を囲む会」を実施する。	○
現状及び今後の方針		
<p>①子どもたちの見守り活動                      地区社協として毎月第一登校日に行う。各地区で海西小学校の児童の登校時の見守り活動を行った。今後も継続して活動していきたい。地域の方に児童の下校時の見守りも行ってもらえた。今後もこの活動は続けていきたい。</p> <p>②高齢者の見守り活動                      ひとり暮らし高齢者宅にふれあい訪問をした。各地区の自治会長・民生委員児童委員・福祉推進委員でひとり暮らし高齢者宅・高齢者世帯を訪問し、感染症防止のマスク等を持参し、声かけを行った。</p> <p>③高齢者を囲む会の実施                      自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員等の協力で、ひとり暮らし高齢者(70歳以上)、高齢者世帯(75歳以上)を対象に、「海西地区高齢者を囲む会」を海西公民館で行った。参加して下さった高齢者の皆さんは、わかば海西こども園児との交流もできて楽しく過ごしてもらえた。</p>		

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

# 令和6年度 海西地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域のネットワークで安全安心な海西
-------	-------------------

重点課題	地域の交流の希薄
------	----------

事業名	推進方法	評価
三世代交流の推進事業	○にこにこ子育て支援事業を推進する。 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、子ども会との連携や三世代交流事業の活発化を図るため、にこにこ支援事業を活用して子どもから高齢者、障がい者まで幅広く交流が図れる行事などを行う。 ・海西地区三世代交流レクリエーション大会	○
	○サロン活動を推進する。 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、いきいきクラブと連携しながら、閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者や障がい者のみなさんが、気軽に地域交流ができるようサロン活動を推進する。また、サロン立ち上げの活動の支援(サロン活動未実施地区へのアドバイス)などを行う。	○
	○視察研修を行う。	○

## 現状及び今後の方針

①にこにこ子育て支援事業の推進 三世代交流事業を行った。にこにこ子育て支援事業を活用して、子ども会、育成会と協力し、子どもから高齢者まで参加して海西小学校体育館で「レクリエーション大会」を行った。幅広く交流が図れた。
②サロン活動の推進 広域サロンは、対象者の交通手段の確保が難しく、実施が見込めていない。
③視察研修の実施 なごや福祉用具プラザにて福祉用具の見学・説明を聞き、名古屋大学減災館にて防災について学んだ。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

# 令和6年度 海西地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域のネットワークで安全安心な海西	
重点課題	各自治会の防災意識の欠如	
事業名	推進方法	評価
防災意識(知識)向上及び 防災啓発の推進事業	<p>○防災について研修会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区内在住防災士などと協力して、消防署の職員や専門家を招いて防災に対する知識や技術などを学ぶ。講座を充実し、専門的な話が聴けるとよい。</li> <li>地域住民自身が、災害をより身近なものであると認識し、危機管理意識を高める。</li> </ul>	○
	<p>○防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区内在住防災士、他団体と連携を図りながら、具体的な避難場所、防災備品等の検討や危険個所の確認をする。</li> </ul>	○
	<p>○避難所運営訓練を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、他団体と連携を図りながら、避難所運営訓練を行う。</li> </ul>	○
現状及び今後の方針		
<p>自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員と協力して、防災の専門家を招いて避難所設営訓練を行った。地域住民の一人一人が防災がより身近なものと認識し、危機管理意識を高めていくため研修を行った。安定的な運営ができるようにメンバー構成を考えていく必要がある。</p>		

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった